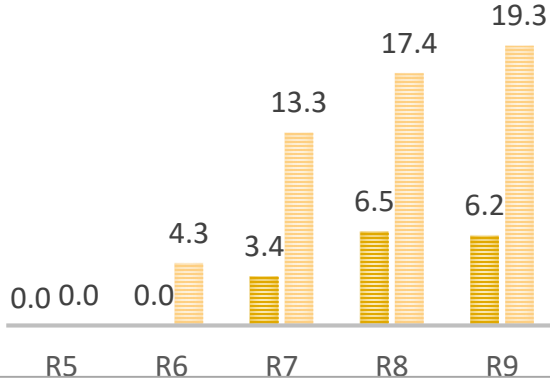


1 資金不足比率上昇の影響

資金不足比率 (%)

左：R5見直し値
右：R6見直し値



資金不足比率とは？～マイナスの資金残高が医業収益に占める割合

○資金不足比率 10%超：企業債の許可制 医療器械の購入に制限

○資金不足比率 20%超：総務省・都道府県の関与



○現状、R7に10%を超過することは不可避

○ただし、20%を超過すると自律的な経営が困難

○20%を超過しないように増患・増収、費用削減の経営改善とともに資金手当が急務

2 今後考えられる経営の方向性

地域連携のあり方

- 地域全体では患者減少
- 病院同士で連携・共存を目指す

医療需要を踏まえた適正な病院規模

- 地域医療需要は刻々と変化
～人口減少と高齢者の増、低侵襲手術の増による
在院日数の減少 など
- 地域全体での適正な病床数を把握
- そして適正な職員配置の検討

基幹病院や各クリニックとの役割分担として連携・共存方法の再検討

地域医療需要を踏まえた病床規模や機能の検討

メディカルスタッフなど適正な職員配置の検討

新設企業債、補助金などの積極的な活用